

MITと米国スタートアップに関するシンポジウムを開催

開催日： 2018年1月25日(木)
場所： 経団連会館
共催： マサチューセッツ工科大学産業学際会（MIT-ILP）
講演： カール・コスター MIT Corporate Relations エグゼクティブ・ディレクター
 スティーブン・パーマー MIT Corporate Relations プログラム・ディレクター
 <スタートアップ企業の最前線>
 NetVirta社、Empatica社、Catalia Health社、Desktop Metal社、
 Top Flight社、Tulip Interfaces社、WiTricity社、Ginkgo Bioworks社、
 Novarials社
 <MIT教授が見るイノベーションの方向性>
 ジョン・グッターグ MIT コンピュータサイエンス科学 教授
 ヴォイチェ・マトゥーシク MIT コンピュータサイエンス 准教授

経済広報センターは1月25日、米マサチューセッツ工科大学産業学際会（MIT-ILP）との共催で、MITからスピンオフしたハイテクスタートアップ9社のCEOらを招き、シンポジウム「KKC/MIT Industrial Liaison Program Showcase～AI、IoT、ヘルステックは産業と社会をどう変えるか」を開催した。会員企業・団体関係者ら約250名が出席、スタートアップの新技术の説明に熱心に耳を傾けた。シンポジウム終了後は、日米企業との交流会が行われ、新製品を展示した特設ブースなどにおいて、活発な意見交換が行われた。



同シンポジウムで講演を行ったのは、NetVirta社、Empatica社、Catalia Health社、Desktop Metal社、Top Flight社、Tulip Interfaces社、WiTricity社、Ginkgo Bioworks社、Novarials社。いずれも、ボストンやサンフランシスコなどに拠点を置き、MITでの研究成果をもとに、高精度3Dボディースキャンモバイルアプリ

リ、金属3Dプリンター、ハイブリッドエンジン無人航空機、AIを活用した遠隔医療システム、ワイヤレス給電システム、高精度・高効率なバイオ・エンジニアリング技術などの商業化を目指している。日本側の参加者は、電機、素材、医薬品、

自動車、建設、エネルギー、金融、商社などさまざまな業種に及び、米国スタートアップとの連携・協力に関する幅広い関心をうかがわせた。また、上記9社の講演と合わせて、MITのジョン・グッターグ教授からヘルスケア分野における最新の機械学習活用状況について、MITコーポレート・リレーションズのカール・コスター事務局長からMITのイノベーション・エコシステムについて、それぞれ説明があった。

以上



一般財団法人 経済広報センター 国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話：03-6741-0031

<http://www.kkc.or.jp/> ※本稿の無断転載を禁じます。